



## 溶連菌感染症



この病気は溶血性連鎖球菌という細菌がのどで増えて起こる病気です。この病気にかかると、のどが真っ赤にはれ、とても痛々しくなり、舌がイチゴのようにブツブツとなります。全身に小さな赤い発疹がでて、かゆくなることもあります。熱もですが、抗生物質をのみ始めると1～2日で下がります。

### ➤ 治療

抗生剤を **10日間続けて**のみます。途中でやめると溶連菌が再び増え始め、病気が再発したり、後になってリウマチ熱や腎炎を起こし、心臓や腎臓に病気を残す可能性があります。必ず続けてのみきってください。

### ➤ 家庭での生活

食事：特に制限はありません。痛みが強いときは、固いものや刺激のあるものはさけます。プリンゼリー、おかゆ、豆腐などの食べ物や、スープ、ジュースなどの水分を中心にあたえます。

入浴：発熱時はやめたほうがよいですが、熱が下がればかまいません。

飛沫感染をするので、家族に同様の症状の方がいれば、早めに医師の診察をうけてください。

### ➤ 保育所、幼稚園、学校

抗生剤物質を内服でき、熱が下がれば登園、登校は可能です。

### ➤ 次回受診

腎臓に異常がないかチェックするために、尿検査をおこないます。朝一番の尿をもってきてください。

抗生物質の内服を終了して約2週間後に尿検査をします。

**再来日は 月 日 ( 曜日)以降です。**

このころには、症状がおさまっていると思われますが、必ず本人も受診させてください。